



大会用データネットワークの構築開始

- データネットワーク関連業務委託（WAN回線一括 1, 2）
- 警備用ネットワーク関連業務委託（詳細設計）及び機器調達について

2019年1月23日
テクノロジーサービス局

1. 審議事項

大会用データネットワークに関しては、昨年より設計及び検証環境構築に先行着手しているが（2017年11月9日経営会議「大会用データネットワークの基本設計業務の発注について」）、今回は2019年3月からの本格運用開始に向け、以下の関連する業務の契約を締結することについて承認いただきたい。

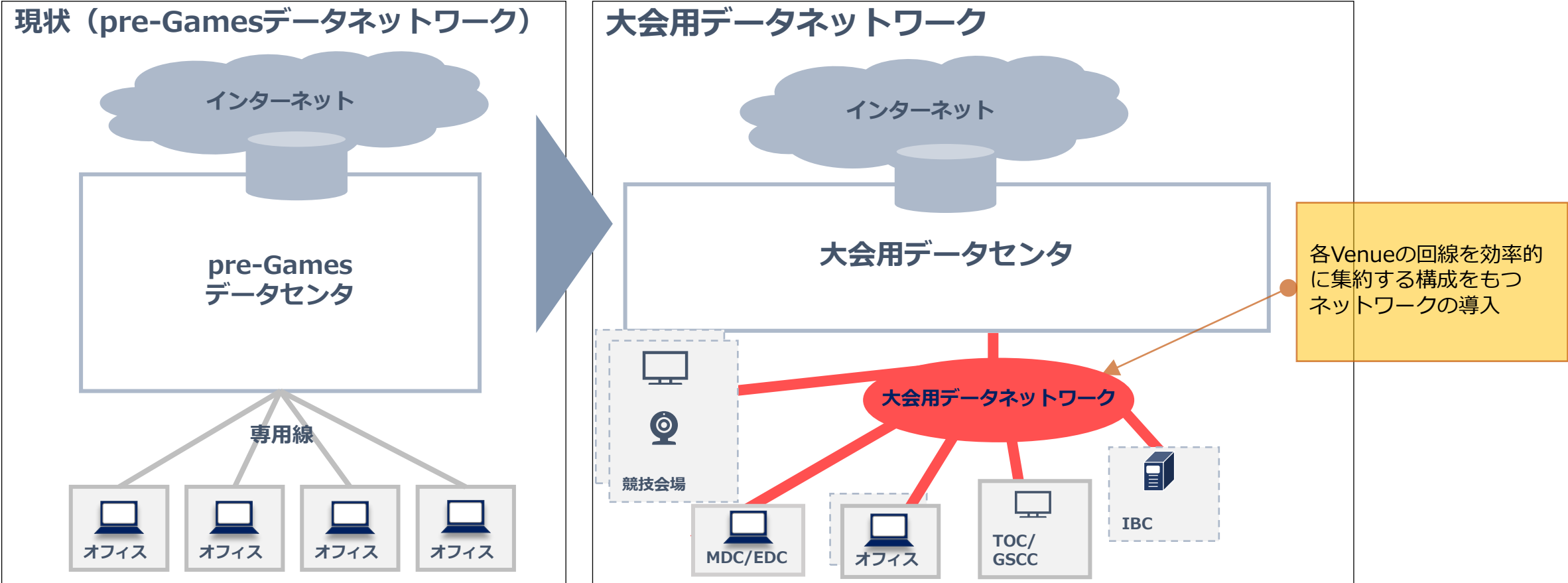
1. 大会会場全域に渡るWAN回線全体に関する包括契約 1、2（一部のテストイベント用の暫定回線は除く）【東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社】
2. 大会中に提供する警備用ネットワーク(CCTV) 詳細設計及び検証機器調達【東日本電信電話株式会社及びシスコシステムズ株式会社】

2. 背景

- ✓ 大会用データネットワークには、これまで運用してきたPre-Gamesネットワークと大きく異なって、強固な信頼性、堅牢なセキュリティ、大会本番に必要な回線容量（帯域）が必要となり、今回そのためのネットワークを再構築します。
- ✓ 2019年6月からのテストイベント開始および一部のオペレーションセンタの運用開始に向け、主要な情報システムが本格稼動する前に、それを確実に支える大会用通信インフラを同年3月を目途に準備する必要があります。

3. データネットワーク関連業務委託（WAN回線一括1,2）

- ✓ 大会用データネットワークでは、より高い信頼性と多層化されたセキュリティ対策を考慮した設計とする。



4. 警備用ネットワーク関連業務委託（詳細設計）

- ✓ 警備用ネットワーク(CCTV)とは、東京2020大会の円滑な警備運営を実現するために、警備局が提供する警備システムの基盤となり、安全な大会運営に不可欠な非常に重要なネットワークである。監視カメラの映像通信や警備のオペレータ用通信を転送する。
- ✓ 数十会場をつなぐ広域ネットワーク上に数千台のカメラがあり、日本でも類を見ない規模のマルチキャストネットワークである。